

注目 宇都宮大学の
EPUU (イープー)
大学キャンパス内に
ミニシアター
欧米の映画
DVD1300枚も常備



「地方にあって予算規模も少なく、制約もさまざまある国立大学においてでも、教養教育の英語教育をここまで改革できる」ことを示したモデルケースとして、昨今、注目を集めている宇都宮大学の基盤教育英語プログラム EPUU (English Program of Utsunomiya University)。テーマは「浴びる英語」で、欧米の映画を教材に、英語の口語表現や欧米文化を学ばせることで、学生の英語コミュニケーション力を確実に向上させています。

このEPUUのカリキュラムを支えるのが、豊かな施設設備。発音チェックのできるCALLラボや洋書8000冊が揃うリーディングラボ、常駐のネイティブスピーカーと英会話ができるクリニックとともに、椅子も音響も本格的なものを揃えたミニシアターは圧巻です。DVDラボには最新の欧米映画が1300枚揃っていて、その場での視聴はもちろん、5人以上集めて事前予約すれば、ミニシアターでの上映も可能とのこと。もちろん、定期的な上映会も行われています。「英語の音声を聴いて英語の字幕を流して見えています。わからないときは、一時停止して日本語訳を確認。操作も簡単なので、楽しみながら英語力をのばせるのが魅力です」と学生さんも大満足の様子でした。

小学生部門



第1回 ナニー・マクフィーと空飛ぶ子ブタ

「メリー・ポピンズ」の現代版で、小学校低学年でも楽しめる。テーマは親子愛、家族愛。主演女優のユニークな台詞回しが、英語の世界を広げてくれるはず。
[ナニー・マクフィーと空飛ぶ子ブタ] ¥1,429 (税抜) NBC ユニバーサル・エンターテイメント
©2010 Universal Studios. All Rights Reserved



第2回 長ぐつをはいたネコ

長ぐつをはいたお尋ね者のネコ「プス」。幼なじみのハンブティ・ダンブティや謎の美女ネコと伝説の「金の卵」を探す冒険物語。わくわくどきどきの展開に、楽しみながら、英語への興味がかき立てられます。
[長ぐつをはいたネコ] ¥2,500 (税抜) パラマウント ジャパン ©2011 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.
Puss In Boots, Puss In Boots: The Three Diablos©2013 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.



第3回 シュガー・ラッシュ

スラングがなく、簡単な単語を使用しているながらも、ひねりのある台詞表現が豊富。全体的にわかりやすい標準的アメリカ英語で、学習に最適。
[シュガーラッシュ DVD+ブルーレイセット] ¥3,800円(税抜) ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン2014©Disney. Licensed characters used with permission. Zangief and Vega ©CAPCOM U.S.A, Inc. Sonic, Dr. Eggman and Neff ©SEGA, Clyde ©NAMCO BANDAI Games Inc., And Q*bert ©Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.

中学生部門



第1回 塔の上のラプンツェル

“This is the story of how I died……”で始まる子ども用アニメ。平易な表現で、英語を理解しながら物語を楽しめる。映像も美しく、挿入歌も秀逸。
[塔の上のラプンツェル MovieNEX] ¥4,000円 (税抜) ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン ©2014Disney



第2回 ものすごくうるさくてありえないほど近い

11歳のオスカーは、9.11のテロで亡くなった父親の遺品から1本の鍵を見つける。その鍵の中身に父からのメッセージがあると信じ、鍵穴を探すためNYの街に飛び出して…。生活用語、実践的口語英語がたくさん学べる映画です。
[ものすごくうるさくて、ありえないほど近い] ブルーレイ ¥2,381 (税抜) DVD ¥1,429 (税抜) ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント



第3回 ライフ・オブ・パイ

一頭のトラと227日に及ぶ漂流生活を余儀なくされたパイの幻想的な物語。追想形式の部分は、比較的やさしい英語が多く、英語学習に適している。
[ライフ・オブ・パイ/トラと漂流した227日] ¥1,419 (税抜) 20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン

高校生部門



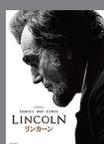
第1回 英国王のスピーチ

偶然国王になった男性が、世紀のスピーチに挑戦する中で、人間としても成長していく。吃音を矯正するために、恥もプライドも捨てて取り組む姿が感動的。舞台が英国のため、英国英語が中心。
[英国王のスピーチ] ¥1,429 (税抜) ハピネット ©2010 See-Saw Films. All rights reserved.



第2回 ヒューゴの不思議な発明

評判の児童文学作品が原作。謎解きと孤独な少年・ヒューゴを助ける女の子の活躍でスピーディーなストーリー展開が気持ちを盛り上げる。英語もわかりやすく、フランス語なまりも楽しめる。
[ヒューゴの不思議な発明] ¥2,381 (税抜) パラマウント ジャパン ©2011 Paramount Pictures. All Rights Reserved. TM, ®& Copyright©2013 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.



第3回 リンカーン

アメリカ史に名を残すリンカーンという人物を的確にとらえ、俳優の名演技とも相まってすばらしい作品に仕上がっている。リンカーンが残した数々の名言を紹介するなど、教材としての活用範囲は広い。
[リンカーン] ¥1,419 (税抜) 20世紀フォックスホームエンターテイメント ジャパン

ジャケット写真は予告なく変更となる場合がございますのでご了承ください。

映画英語アカデミー学会が選考、発表している「映画英語アカデミー賞」。外国語として英語を学ぶ、日本の子どもたち向けの教材として、映画を評価した賞です。これまでに選ばれた作品をご紹介します。

母さんは文字を捨てるので歌をいっしょに歌ったりするものいいですね。大ヒットした「アナと雪の女王」などだと喜んで歌うお子さんも多いのではないのでしょうか。もしお子さんが気に入ったシーンがあったら、英語字幕で文字を捨て、親子で役を決めて「○○○○こをやってみようか」と誘えばいいんです。要はロールプレイですが、とても楽しく面白い体験になると思いますよ。子どもが演じた時は短いシーンでも徹底してほめてあげましょう。

とにかく気軽に楽しみましょう！

学校の授業でも映画は使われています。映画だと挨拶、歌、日常の場面などシーンを見せるだけで、表情や発音などネイティブの使い方が一目瞭然とわかります。そしてその背景になる文化まで全部入っていて情報量が圧倒的に多いので、使わない手はないんです。でも勉強という意識では長続きしません。とにかく楽しくやってムリをしないのが一番。好きな映画、好きな俳優の出演している映画を選んで、わがままに遊び心を大切に実践しましょう！



曾根田 憲三 先生

映画英語アカデミー学会会長。専門は吹き替え翻訳とアメリカ現代ポップカルチャー。相模女子大学教授(英語文化コミュニケーション学科)を経て、現在、中央大学にて「シャレード」を教材に「英語表現」講義。著書「ハリウッド映画でアメリカが読める」(開文社出版)他多数。好きな映画は「カサブランカ」。

曾根田先生からの
ECC 生へのメッセージ

Practice makes perfect. (練習が完璧をつくる)ということわざが教えるとおり、言葉の習得はその言葉とどれだけの時間を過ごしたかによって決まります。日常生活や人間関係などの全てを、素晴らしい映像と音で描く映画を使って、英語の達人になりませんか。

映画には教科書にない「使える」表現があふれている

アメリカの映画や文化に造詣が深く、「映画で英語を学ぶ」をテーマにした学会を創設し活動してきた曾根田先生。今回はDVDを使って英語を効果的に学ぶための実践のコツを紹介していただきます。

映画DVDで英語を学ぶステップ

まずは一つの作品をどういう流れで見ればよいかを説明しましょう。

①英語力の自己診断のために字幕なしで見ると自分の英語のレベルを知るために、最初は英語字幕も日本語字幕も出さずに映画を通して見てみます。よほど英語に慣れている方ではないと最初はほとんどわからないかもしれません。

②日本語字幕でストーリーを把握する

次に日本語字幕を出して映画を見ます。これでストーリーが把握できます。気になったあのシーンはこういう意味だったのか、なども判明するでしょう。でも日本語字幕は英語を直訳しているわけではないので、実際の英語表現まではわからないことがあります。

③英語字幕で英語表現を確認する

最後に英語字幕を確認します。実際に英語でどのように表現されていたのか、ここでようやくわかります。わかりにくいところや気になるところがあれば繰り返し見てください。だいたいこのような流れでDVDを活用

します。ただし①の段階で、まったくわからないと感じたら、ムリをしないで②のステップに移りましょう。我慢して2時間全部見る必要はありません。また英語力に自信のある人は②の日本語字幕のステップを飛ばして③の英語字幕から入ってもいいですよ。

ストーリーや言い回しをざっと把握したら、その後はDVDを流しておくだけでもいいんです。そうするとリアルな会話の速度にだんだん慣れてきます。運転と同じで、繰り返し体を慣らすのがスピードに慣れるコツなんですよ。

映画はコミュニケーションを円滑にする表現の宝庫

映画で英語を学ぶ時に大事なことは、最初から全てを理解しようと思わないことです。わからないところがあっても当然なので、そこはさらさらと流して、まずは映画を楽しみましょう。その中で自分の興味のあるシーン、必要だと思うシーンがあればピックアップして繰り返し見ればいいんです。恋愛中の人なら恋人同士のやりとり、子どもがいる人は親子のやりとりなどに自然に関心が向くんじゃないでしょうか。

たとえば親が子どもの口のきき方を注意するシーンなどを見ると「言葉に気をつけなさい」というのにも言い方がいろいろあるのがわかります。“Watch your language.”はそのまま「言葉に注意しなさい」ですが、“Wash your mouth.”(口を洗いなさい)などと言ったりもします。汚い言葉で口が汚れて

いるからですね。このように映画には教科書では教えないそういう日常的な表現があふれています。海外でホームステイなどをする時にはそういう日常表現に接することの方が多くだと思います。

映画は人間関係を円滑にするための言い回しの宝庫でもあります。たとえばケンカをして楽しいはずの一夜を台なしにしてしまいい、後で謝りたい時などにはこんな表現が使われます。“I'm sorry I ruined your night.”この表現をする時は映画でもちょっと早口で照れたように言うので聞き取りにくいかもしれませんが(笑)。直訳すると「ごめんなさい、君の夜をだいなしにして」ですが、ニュアンスとしては「今夜はごめんね」といった感じですよ。そういう言い回しを頭に入れておくと思いの疎通をはかる時に役に立ちますよ。

ECC生には

こんなやり方がおすすめ

子どもにはディズニー映画がおすすめです。不適切な言葉や表現がないし、教育的な内容が多いですから。大学生でも英語力の自己診断のためにディズニーはおすすめです。アメリカで12〜15歳くらいの子が理解している英語をどこまで理解できるかという目安になります。

もっと小さい子にはとりあえず吹き替えでディズニーを見せてあげるのでもいいかもしれませんね。子どもが見て「面白い!」と言ったら、あるいは歌や一部のシーンに興味をもったら、英語版に切り替えて見せてあげるんです。お